



内匠堀は江戸時代前期の元和年間に開削が始められた灌漑用水路で、この水路の完成によって行徳・浦安地区の農業は大きく発展した。その後、都市化の進展によって田畑がなくなると灌漑用水路としての使命を終えて暗渠化されていた。「内匠堀プロムナード」は、この内匠堀を現代風に復活させた親水緑道で、小学校の敷地と一体的に整備されたものである。歩道沿いには、曲線的なデザインの壁面が設けられ、水の記憶を呼び戻すような里をイメージしたせせらぎがつくられている。また、築山から落ちる滝や木の葉の噴水などの親水施設が設けられているほか、既存の樹木を生かした歩道の拡幅整備を行い、ゆったりとした空間を創出し、地域の人々に親しまれる憩いの場となるように配慮した。

36

内匠堀プロムナード

たくみほり

DATA・BOARD 36

- ①千葉県市川市欠真間1丁目6-38
- ②延長：210m、幅員：平均5m
- ③側壁、水路、滝、噴水
- ④インターロッキングブロック、レンガタイルほか

